

新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館
指定管理者

平成30年度 事業実績報告書

公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団

目 次

◆ 文化事業実績	．．．．．	P 1
◆ 施設管理運営事業実績	．．．．．	P 9
◆ 指定管理者自己評価（芸文）	．．．．．	P17
◆ 指定管理者自己評価（音文）	．．．．．	P23
◆ 委託契約（施設管理）	．．．．．	P25
◆ 委託契約（舞台技術）	．．．．．	P26
◆ 収支決算書	．．．．．	P27

文化事業実績

平成 26 年度からスタートした第 3 期指定管理期間の 5 年目（最終年）として、文化事業では市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）と音楽文化会館の設置目的を実現するため、以下の基本方針に基づき、音楽・演劇・舞踊の各分野において 2 館の優れた特性を活用し、質の高い創造性あふれる芸術活動を展開するとともに、本市における将来の芸術文化活動を担う人材の育成に努めました。

また、新潟からの新たな質の高い舞台芸術作品を国内外に創造発信し、本市の芸術文化の振興を図りながら都市活力の向上に努めました。

更に、平成 30 年度は開館 20 周年にあたることから、20 年間支えていただいたお客様に感謝し喜んでいただくための周年事業を実施しました。

実施方針

1 新潟市民の文化活動への支援

新潟市や他の文化団体などとタイアップした共催事業の開催により、幅広い鑑賞機会の提供と市民の芸術文化活動への支援に取り組みました。

また、市民が芸術文化活動に参加し親しめる各種ワークショップや講座などの開催、芸術団体、芸術家と協力して学校や福祉施設等を訪問するアウトリーチ事業を実施し、本市の文化レベルの向上と芸術文化の普及に努め、文化のまちづくりに取り組みました。

2 地域に根ざした文化の創造

りゅーとぴあ専属ダンス・カンパニーNoism やりゅーとぴあプロデュース演劇企画などの新潟独自の舞台芸術を国内外に創造・発信しました。

舞踊事業では、Noism のメインカンパニーNoism1 が、夏に開館 20 周年事業として「ROMEO&JULIETS」を、冬には「R. O. O. M/鏡の中の鏡」を、またほかの作品を新潟市内にとどまらず、県外、海外で上演しました。研修生カンパニーNoism2 も夏、冬にそれぞれ新作を上演しました。

演劇事業では、春にりゅーとぴあプロデュース公演「人形の家」を製作、新潟公演に引き続き東京公演を実施し、秋に開館 20 周年事業として「ミュージカル：シャンポーの森で眠る」を市民から公募したキャストも交え新潟で上演しました。

さらに新潟独自の芸術文化の創造・発信活動を通して、他の劇場等との連携・協力関係の構築と舞台芸術を通じた交流を深め、地方の公立劇場としての拠点性を高

めるとともに文化創造都市イメージの向上に努めました。

3 質の高い、専門性に富んだ芸術を鑑賞する機会の提供

新潟地域の拠点会館として、上質な専門施設を活用しながら、優れた舞台芸術の多様な鑑賞機会を提供し、豊かで彩りのある市民生活づくりに努めました。

音楽事業では、準フランチャイズ提携をしている東京交響楽団による年 6 回の新潟定期演奏会を柱としたオーケストラ演奏会や、開館 20 周年事業である NHK 交響楽団特別演奏会、更にピアノ・リサイタルシリーズ、室内楽シリーズ、オルガンシリーズなどのシリーズ企画の他、気軽に演奏会を体験してもらう 1 コインコンサート、など多彩な演奏会を開催し、聴衆レベルの向上と幅広い層の聴衆の拡大を図りました。

演劇事業では、演劇部門芸術監督企画の公演や古町芸妓が総出演する「ふるまち新潟をどり」などのレパートリーの企画のほか、人気劇団による作品上演や小劇場系の演劇作品、伝統芸能など様々な舞台芸術の公演を開催し、賑わいと深みのある劇場空間の創造と観客の定着を目指しました。

能楽事業では、伝統様式の能舞台を活用し、宝生流と観世流による春と秋の「能楽鑑賞会」及び野村万作・萬斎狂言公演を演目に工夫を凝らし開館 20 周年事業として開催しつつ、馬場あき子特選能楽鑑賞会、などを実施し、日本の伝統芸能の普及に努めました。

4 文化を支える人材育成

幅広い年代と様々な舞台芸術のジャンルにおける人材育成を図り、文化の裾野の拡大に努めました。

音楽事業では、オーケストラ、合唱、邦楽の「ジュニア音楽教室」、演劇事業では、「演劇スタジオ・APRICOT」の活動を通して、本市の芸術文化活動を支えるジュニアの育成に努めました。また、提携オーケストラ東京交響楽団との共演を目的に活動している「にいがた東響コーラス」のレベル向上を目指しました。

事業内容

(1) 音楽事業

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会や、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらにオルガンの活用事業、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努めました。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図りました。

① 鑑賞事業

ー東京交響楽団シリーズー

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第 107 回 平成 30 年 5 月 13 日(日) ～チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲～

第 108 回 平成 30 年 7 月 8 日(日) 開館 20 周年記念～ヴェルディ：レクイエム～

第 109 回 平成 30 年 9 月 30 日(日) ～ブラームス：交響曲第 1 番～

第 110 回 平成 30 年 11 月 4 日(日) ～ラフマニノフ：交響曲第 2 番～

第 111 回 平成 30 年 12 月 2 日(日) ～シューマン：チェロ協奏曲～

第 112 回 平成 31 年 3 月 31 日(日) ～ベートーヴェン：交響曲第 5 番～

・東響定期+α 神尾真由子ヴァイオリン・リサイタル 平成 30 年 4 月 29 日(日)

・東響定期+α ピアノ・リサイタルシリーズNo. 37 シャルル・リシャール＝アムラン
平成 30 年 6 月 3 日(日)

・東響定期+α NHK交響楽団 開館 20 周年記念 平成 30 年 10 月 7 日(日)

ー室内楽シリーズー

・No. 36 三浦一馬キンテート 平成 30 年 11 月 3 日(土・祝)

ーオルガンシリーズー

・歴代オルガニスト ジョイント・コンサート 平成 30 年 7 月 28 日(土)

・山本真希リサイタルシリーズ No.25 平成 30 年 11 月 10 日(土)

・オルガン・クリスマスコンサート 2018 平成 30 年 12 月 13 日(木)

ーホール体験事業ー

・1 コインコンサート

Vol.94 「ピアノ」 平成 30 年 4 月 28 日(土)

Vol.95 「オルガン」 平成 30 年 5 月 10 日(木)

Vol.96 「ユーフォニアム」 平成 30 年 6 月 1 日(金)

Vol.97 「声楽／バス」 平成 30 年 9 月 21 日(金)

Vol.98 「サクソフォン四重奏」 平成 30 年 10 月 6 日(土)

Vol.99 「チェロ」 平成 30 年 12 月 5 日(水)

ーその他ー

・帰ってきたホルン紅白 平成 30 年 8 月 4 日(土)

② 育成・普及事業

ーオルガン事業ー

- ・オルガン普及プログラム
 - ポジティブオルガン演奏コースⅠ 平成30年9月9日(日)～10月28日(日)
 - ポジティブオルガン演奏コースⅡ 平成31年1月13日(日)～3月10日(日)
 - リスナーコース 平成30年9月9日(日)～10月14日(日)
 - 大オルガン特別講座 平成30年7月11日(水)
 - 思いっきりオルガン演奏体験 平成30年8月1日(水)
- ー市民参加合唱団ー
 - ・にいがた東響コーラス 平成30年4月4日(水)～7月8日(日)
- ージュニア等育成事業ー
 - ・ジュニアオーケストラ教室育成事業
 - 第37回演奏会 平成30年9月16日(日)
 - クリスマスコンサート 平成30年12月23日(日)
 - ・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会
 - 第32回幹事会 平成30年5月15日(火)～16日(水) 豊田市
 - 第33回幹事会 平成31年2月22日(金) 墨田区
 - ・ジュニア合唱団育成事業
 - 第28回定期演奏会 平成30年7月15日(日)
 - クリスマスコンサート 平成30年12月16日(日) 音文
 - 第41回新潟県少年少女合唱団合同演奏会 平成30年8月11日(土)
 - にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2019 平成31年2月10日(日) 聖籠町
 - ・ジュニア邦楽合奏教室育成事業
 - 和楽器わくわく体験デイ 平成30年4月4日(水)
 - 第23回定期演奏会 平成30年7月29日(日) 音文
 - ・ジュニア音楽教室第15回スプリングコンサート 平成31年3月30日(土)
- ーその他ー
 - ・避難訓練コンサート 平成30年10月9日(火)
 - ・りゅーとぴあアウトリーチ事業
 - 本間優ピアノ・リサイタル 平成30年12月3日(月) スタジオA
 - 外山裕介ユーフォニアム・リサイタル 平成30年12月6日(木) スタジオA
 - アウトリーチ(市内小学校ほか) 平成30年7月5日(木)～11月7日(水) 全23回
 - ・大学生アーツ・マネジメント研修 平成30年8月3日(金)～6日(月)
 - ・気軽に音ステージ 平成30年6月3日(日) 音文
 - ・おんぶんリレーコンサート2018 平成30年10月26～28日(金～日) 音文
 - ・コンサートホール企画連絡会議 平成30年8月8～9日(水・木) 新潟
平成31年2月4～5日(月・火) 墨田区

(2) 演劇事業

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、公共の劇場や製作会社が製作した作品及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能などの様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指しました。「物語の女たちシリーズ」「りゅーとぴあプロデュース」の企画により新潟発のオリジナル作品を創造し、全国に向けて発信しました。また開

館 20 周年の記念事業としてミュージカル「シャンポーの森で眠る」を再演、市民と共に舞台創造に取り組みました。育成事業では「演劇スタジオ APRICOT」を通して次世代を担う子どもたちのなかから舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育み、広く演劇活動の振興を図りました。

① 鑑賞事業

- ・竹中直人・生瀬勝久企画公演「火星の二人」 1 回公演 平成 30 年 5 月 21 日(月)
- ・白石加代子「百物語」アンコール公演「牡丹灯籠」1 回公演 平成 30 年 6 月 16 日(土)
- ・ナイロン 100℃ 新作公演「鞆丸」2 回公演 平成 30 年 7 月 31 日(火)・8 月 1 日(水)
- ・阿佐ヶ谷スパイダース「MAKOTO」1 回公演 平成 30 年 9 月 1 日(土)
- ・「第三十回ふるまち新潟をどり」 2 回公演 平成 30 年 9 月 23 日(日)
- ・水都寄席「第 20 回 春風亭小朝独演会」1 回公演 平成 30 年 11 月 11 日(日)
- ・「ゲゲゲの先生へ」2 回公演 平成 30 年 11 月 22 日(木)・23 日(金)
- ・「ロミオとジュリエット」 1 回公演 平成 30 年 12 月 19 日(水)
- ・NE/ST 公演「BOOTS」「BEACH」4 回公演 平成 31 年 2 月 14 日(木)～16 日(土)

② 育成・普及事業

- ・りゅーとぴあ演劇スタジオ APRICOT 通年(発表公演:夏季/アウトリーチ/春季)
 APRICOT2018 夏季公演「ハイジ」 4 回公演 平成 30 年 8 月 10 日(金)～12 日(日)
 APRICOT2019 春季公演 スタジオトリアル公演「シンデレラ」 6 回公演
 平成 30 年 3 月 16 日(土)～21 日(火)
 APRICOT アウトリーチ事業 1 回 平成 31 年 3 月 24 日(日)
 APRICOT 演劇体験ワークショップ 2 回 平成 30 年 10 月 27 日(土)
 平成 31 年 3 月 24 日(日)
- ・りゅーとぴあ・演劇ワークショップ「シニアリーディングワークショップ」 2 回
 平成 30 年 11 月 30 日(金)
 12 月 1 日(土)

③ 新潟発創造事業

- ・りゅーとぴあプロデュース公演「人形の家」 1 回公演 平成 30 年 5 月 10 日(木)
 東京公演) 9 回公演 5 月 14 日(月)～20 日(日) 東京芸術劇場・シアターウェスト
 兵庫公演) 2 回公演 5 月 23 日(水)～24 日(木) 兵庫県立芸術文化センター・阪急中ホール
- ・開館 20 周年記念事業 ミュージカル「シャンポーの森で眠る」 4 回公演
 平成 30 年 10 月 19 日(金)～21 日(日)
- ・物語の女たちシリーズ第 2 弾「燃えよ剣」(再演) ツアー公演 2 回公演
 石巻公演) 平成 30 年 11 月 4 日(日) 石巻市河北総合センタービックバン
 海老名公演) 11 月 7 日(水) 海老名市文化会館

(3) 能楽事業

伝統様式に則った本格的な能舞台の舞台を活用し、子どもから一般までを対象とした鑑賞公演と、能狂言に対する基礎的な知識や興味を高める能楽講座、ワークショップ等を開催しまし

た。また、子どもたちを対象としたお囃子と狂言のワークショップやアウトリーチ事業の能楽体験教室を開催して若年層への能楽普及を図りました。

① 鑑賞事業

- ・春の能楽鑑賞会「道成寺」(宝生流) 1回公演 平成30年5月12日(土)
- ・能楽堂で楽しむ昆劇「繡襦夢」 1回公演 平成30年6月10日(日)
- ・野村万作・萬斎狂言公演 2回公演 平成30年7月21日(土)
- ・秋の能楽鑑賞会「卒塔婆小町」(観世流) 1回公演 平成30年9月29日(土)
- ・馬場あき子特選能「塩津哲生の『景清』」 1回公演 平成30年12月9日(日)
- ・若手能楽師スペシャル公演「巴」 1回公演 平成31年3月30日(土)

② 育成・普及事業

- ・能楽基礎講座「若手能楽師に聞く能の楽しみ」 2回 平成30年4月21日(土)
平成30年8月19日(日)
- ・能楽体験教室「『羽衣』を体験しよう！」 1回 平成30年7月5日(木)
- ・能楽体験講座「舞の習い」 全8回 平成30年6月27日(水)～9月8日(土)
発表公演 平成30年9月9日(日)
- ・「さわってみよう能の世界」 1回 平成30年11月10日(土)
- ・能楽ワークショップ [謡] (市内小学校) 4回 平成30年7月5日(水)
平成31年1月21日(月)
- ・能楽ワークショップ [囃子] (能楽堂・市内小中学校) 4回 平成30年6月5日(火)・6日(水)
- ・能楽ワークショップ [狂言] (能楽堂・市内小学校) 4回 平成31年2月26日(火)・27日(水)

(4) 舞踊事業

全国唯一のレジデンシャル・ダンス・カンパニーNoismの活動を通して、水準の高い新潟オリジナルの舞踊作品を国内外に向けて創造発信し舞台芸術の振興を図りました。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育みました。また、新潟市などとの協働・連携や他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することから、全市的及び国内における拠点施設としての地位と役割を高め、文化創造都市としての更なるイメージ向上に努めました。

① 新潟発創造事業

- ・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism 運営事業

(公演事業)

- ・開館20周年記念事業 Noism1 & SPAC 劇的舞踊 vol.4 『ROMEO & JULIETS』
新潟公演 3回公演 平成30年7月6日(金)～8日(日)
埼玉公演 3回公演 平成30年9月14日(金)～16日(日)
- ・Noism1 新作 実験舞踊 vol.1 『R.O.O.M.』 / 『鏡の中の鏡』
新潟公演 13回公演 平成31年1月25日(金)～27日(日)、
1月31日(木)・2月1日(金)、2月3日(日)・4日(月)、
2月9日(土)～11日(月祝)、2月15日(金)～17日(日)
東京公演 5回公演 平成31年2月21日(木)～24日(日)
- ・Noism2 特別公演『ゾーン』 3回公演 平成30年7月27日(金)～29日(日)

・ Noism2 定期公演 vol.10 5回公演 平成31年3月15日(金)~17日(日)

(その他受託事業)

・ Noism2 〈アート・ミックス・ジャパン〉「にいがた総おどり」出演

主催：アートミックスジャパン実行委員会

りゅーとぴあ・劇場 平成30年4月14日(土)

・ Noism1 〈上野の森バレエホリデイ〉『Mirroring Memories—それは尊き光のごとく』

主催：〈上野の森バレエホリデイ〉実行委員会

東京文化会館〈小ホール〉 平成30年4月28日(土)~30日(月祝)

・ Noism1 『NINA—物質化する生け贄』／『The Dream of the Swan』上海公演

主催：Shanghai International Dance Center Theatre Management Co., Ltd.

Shanghai International Dance Center Theatre 〈Grand Theatre〉

平成30年5月19日(土)~20日(日)

・ Noism2 『砕波』 主催：第68回新潟県公民館大会実行委員会

新潟市江南区文化会館 平成30年7月19日(木)

・ Noism1&2 劇的舞踊『ラ・バヤデール—幻の国』 ロシア・サンクトペテルブルグ公演

主催：NPO DIAGHILEV. Postscriptum. International festival of the arts in St Petersburg

Alexandrinsky Theatre 平成30年11月21日(水)

② 普及事業

・「柳都会」第19回 須長檀×金森穰 りゅーとぴあ・スタジオB 平成30年12月2日(日)

・「柳都会」第20回 近藤一弥×金森穰 りゅーとぴあ・スタジオB 平成31年3月24日(日)

・ Noism サマースクール りゅーとぴあ・スタジオB 平成30年7月26日(木)~30(月)

(5) 共催事業

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行いました。

また、4月28日~29日に開催された「春の新潟・音楽ウィーク 2019」では、新潟市などで構成される音楽祭実行委員会に財団も参加し、主催事業との連動することで広範な集客を図りました。

・ 佐渡裕指揮ウィーン・トーン・キュンストラ管弦楽団 平成30年5月18日(金)

・ 鼓童&バック・ハー 平成30年5月26日(土)

・ 森山良子 平成30年9月29日(土)

・ シュトゥットガルト室内管弦楽団 平成30年10月12日(金)

・ 第66回新潟市芸能まつり 平成30年9月24日(月・祝)~平成31年1月27日(日) 音文ほか

・ 「第15回劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」 平成31年1月13日(日)

(6) 広報営業事業

開館20周年記念事業を中心に、公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保並びに企業協賛の募集など、広報・営業活動を効果的に展開し、合わせて上質な施設機能を広くアピールして、会館の知名度の拡大と利用促進を図りました。

また、指定管理を受託している新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の3館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高めるよう情報の発信に努めました。

- ・ 広報・営業事業
- ・ 音楽広報事業
- ・ 演劇広報事業

(7) 調査研究諸費

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努めました。

(8) 事業企画諸費

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を内外に発信しました。

- ・ 芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
- ・ 専属オルガニスト
- ・ 演劇企画プロデューサー

(9) 事業管理経費

票券業務、託児サービス業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努めました。

施設管理運営事業実績

運営に関する基本的な考え方

○市民芸術文化会館・音楽文化会館共通

施設の管理については、次の3点を基本的な考え方としながら、会館の機能を最大限に維持すること、衛生的で品位のある施設を維持することに努めました。

- 1 限られた予算の中で設備の故障リスクを最小限に抑えるために、メンテナンス方法を予防保全と事後保全に分け、効率的な維持管理を行ないます。

※ 予防保全 : 故障が発生しないように行なうメンテナンス方法（日常点検・定期点検、部品の寿命を考慮した部品交換）

※ 事後保全 : 設備が故障してから修理を行なう方法

- 2 建物の衛生的環境を維持するため、法令に従い必要な測定・調査・清掃を行い、安心・安全な施設を維持します。

- 3 管理業務の一層の効率化により、最小の経費で最大の効果を図ります。

① 委託業務のさらなる仕様見直し

② 市民芸術文化会館と音楽文化会館の管理の一元化（継続実施）

・警備、検査、設備点検、植栽業務の統合管理（継続実施）

○市民芸術文化会館

ホール等の運営については、ショップで扱うグッズやインフォメーションの充実を図るとともに、レストラン・ビュッフェ、展望ラウンジなど多様な飲食コーナーを配置して、来館者の皆さまが快適に過ごしていただけるように努めました。

平成30年6月から断続的に休館し、新潟市の発注により特定天井を中心とした改修工事が行なわれました。工事中の利用者の皆様の安全について万全の対応を図るとともに、きめ細かい点検を効率的に実施し、施設機能の保全を図りました。

また、11月～12月には、2階共通ロビーに、職員が手づくりでクリスマスの飾りつけを行なうなど、心のこもったサービスを提供しました。



クリスマスツリーの飾りつけ

また昨年に引き続き、市民の方々に施設に触れる機会を提供し、身近に感じていただくために、バックステージツアーを企画しました。

年 度	回 数	参加者数
H 3 0	3企画・6回	62人
H 2 9	3企画・6回	224人

○音楽文化会館

引き続き、市民にステージの雰囲気味わっていただく体験イベント「気軽に音ステージ」と「リレーコンサート」を企画し、多くの参加を得ました。また12月には、2階玄関をメインとして各所に職員がクリスマスの飾りつけを行いました。

年 度	気軽に音ステージ		リレーコンサート	
	出演者数	楽器体験者数	出演者数	観 客 数
H 3 0	46人	205人	296人	857人
H 2 9	61人	190人	284人	854人

事業内容

1 貸館事業

○市民芸術文化会館

[計画の目標値との比較] () 内：稼働日数

	稼働率			入場者数(人)		
	目標値	実績	差引	目標値	実績	差引
コンサート	89.0%	78.9%	▲10.1%	282,000	241,848	40,152
ホール	(148日)	(131日)	(▲17日)			
劇場	78.0%	80.3%	+2.3%	歳入(千円)		
	(190日)	(196日)	(+6日)	目標値	実績	差引
能楽堂	47.0%	37.1%	▲9.9%	53,000	49,963	▲3,037
	(120日)	(95日)	(▲25日)			

[平成29年度実績との比較]

	稼働率			入場者数(人)		
	H29	H30	差引	H29	H30	差引
コンサート	85.2%	78.9%	▲6.3%	257,654	241,848	▲15,806
ホール	(138日)	(131日)	(▲7日)			
劇場	77.3%	80.3%	+3.0%	歳入(千円)		
	(150日)	(196日)	(+46日)	H29	H30	差引
能楽堂	38.6%	37.1%	▲1.5%	47,504	49,963	+2,459
	(90日)	(95日)	(+5日)			

[分析]

① コンサートホール

東京交響楽団の定期演奏会、1コインコンサートなどの人気シリーズの公演のほか、自主事業を積極的に展開しました。平成29年度まで新潟市と共催で実施していた、ラ・フォル・ジュルネが休止になったこともあり、想定したほど利用日数が伸びず、稼働率は目標値を下回りました。来年度は一層の利用の促進に努めます。

② 劇場

りゅーとぴあプロデュース演劇公演や、開館20周年事業であるシャンポーの森で眠るなど、自主事業を積極的に展開し、稼働率は目標を上回りました。来年度も引き続き利用の促進に努めます。

③ 能楽堂

春・秋の能楽鑑賞会や、野村万作萬斎狂言公演など、自主事業を積極的に展開しましたが、想定したほど利用日数が伸びず、稼働率は目標値を下回りました。来年度は一層の利用の促進に努めます。

④ 入場者数

新潟市からの受託事業として平成 29 年度まで実施していた、わくわくキッズコンサート及びラ・フォル・ジュルネが休止となり、それぞれの後継企画は開催されたものの、2 万人以上の入場者減となりました。また、貸館事業の入場者数も見込みを下回り、目標値に対して 4 万人余り及びませんでした。

⑤ 歳入

コンサートホール及び劇場の貸館利用日数が想定してより少なく、目標額に対し 300 万円ほど及びませんでした。平成 30 年度で改修工事が終了し、来年度は通年開館に戻るため、目標達成に向けて利用促進を図ります。

○音楽文化会館

[計画の目標値との比較] () 内：稼働日数

	稼働率		
	目標値	実績	差引
ホール	74.0%	70.5%	▲3.5%
	(218 日)	(208 日)	(▲10 日)

入場者数 (人)		
目標値	実績	差引
178,000	152,338	▲25,662
歳入 (千円)		
目標値	実績	差引
22,902	22,185	▲717

[平成 29 年度実績との比較]

	稼働率		
	H 2 9	H 3 0	差引
ホール	76.8%	70.5%	▲6.3%
	(218 日)	(208 日)	(▲10 日)

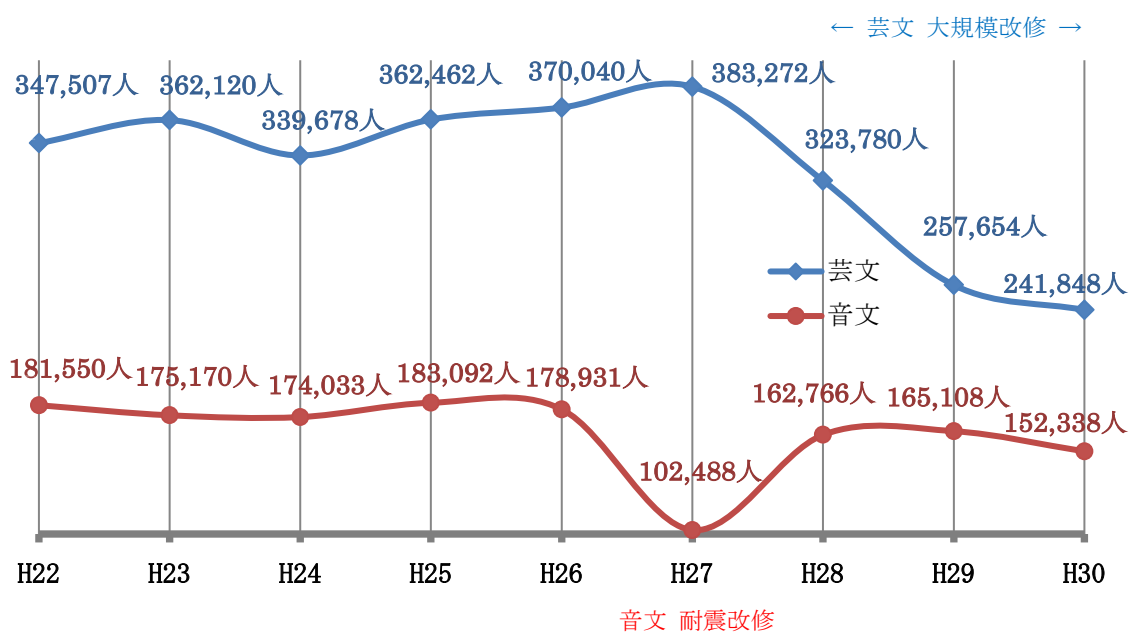
入場者数 (人)		
H 2 9	H 3 0	差引
165,108	152,338	▲12,770
歳入 (千円)		
H 2 9	H 3 0	差引
29,384	22,185	▲7,199

[分 析]

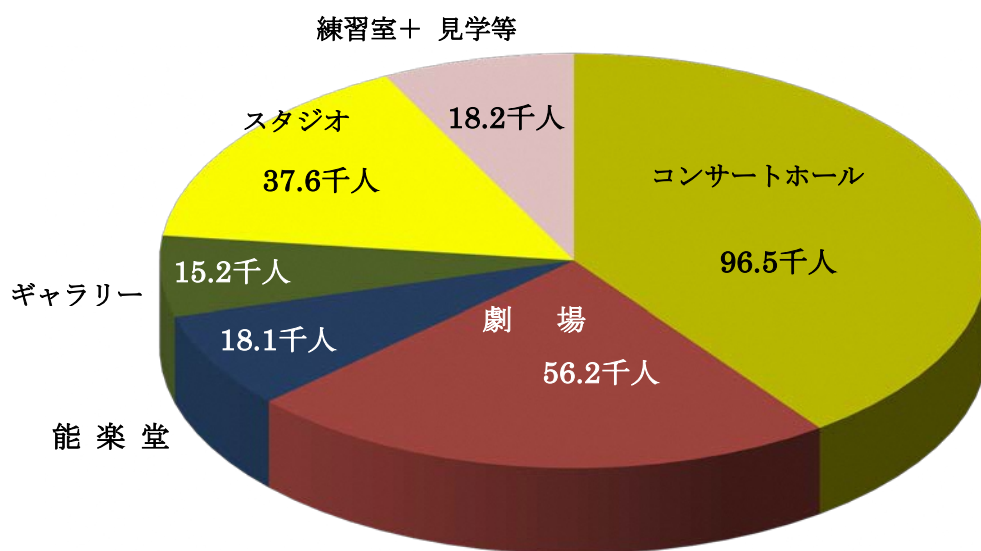
全 般： ホール稼働率・入場者数・歳入いずれも目標値に達しませんでした。稼働率は前

年度りゅーとぴあが工事休館期間だったため当館を利用した催し物が、元に戻ったこと等によると考えられます。入場者数はホール利用の減、及び練習室の定期利用団体の人数減等が原因と考えられます。歳入は次年度の工事休館の影響で、約半年間の定期利用分が想定より減収となったことが大きいです。高齢化等により継続が困難であった団体が次年度の休館を機に活動終了するケースも発生し、社会情勢の変化と併せて平日日中の定期利用が今後も減少すると予想される中ではありますが、引き続き利用促進に努めてまいります。

【参 考】 入 館 者 数 の 推 移



平成30年度 芸術文化会館入館者内訳



2 貸館利用受付時間

公平性を遵守しながらも、市民サービスを基本に考えて、柔軟な対応を図りました。

○市民芸術文化会館：土日を含む毎日9：30～18：00（休館日を除く）

○音楽文化会館： 土日を含む毎日9：00～17：00（休館日を除く）

3 登録レセプションニストの配置

登録レセプションニストの配置については、公演の円滑な進行とお客さまの快適性、そして効率性に配慮しながら運営しました。

また、外部講師による研修や職場内研修を実施し、スキルアップを図ることなどにより主催者・鑑賞者双方から、接客の姿勢について高い評価をいただいております。

- ・業務：客席案内、クローク業務、ビュッフェ業務、チケット確認等
- ・研修：外部講師による基礎・専門研修、危機管理研修・訓練等

	レセ登録数	稼働数	延べ稼働人員
H30	33人	219公演	3,193人
H29	40人	196公演	2,971人

4 舞台技術スタッフによるサービス

○市民芸術文化会館

- ・公演時に求められる高度な演出を実現するため、会館の舞台技術スタッフが仕込み段階から主催者をサポートしています。

設備の操作については、危険度の高い舞台機構は当館の技術スタッフがすべて行い、音響・照明設備は主催者側スタッフ（市民、外部専門スタッフ）に技術指導（一部補助操作）を行なうなど、サービスの向上に努めました。

なお、安全第一の舞台運用と演出ノウハウの支援・指導については、主催者及び関係スタッフから大きな信頼と好評をいただいております。

- ・新潟発創造事業、育成事業に積極的に参加し、創作活動と遠征公演での経験が、舞台技術の大きな蓄積と職員のスキルアップに役立っています。

○音楽文化会館

昨年に引き続き、ホール等に会館の舞台技術スタッフを配置し、準備作業や本番の操作をアドバイスすることで、市民の舞台づくりを支援しました。

5 飲食サービスの提供

○市民芸術文化会館

3階レストラン「リバージュ」は、“デリカ&カフェ”をコンセプトにテイクアウトお弁当などをお飲物とともにお楽しみいただくイートインスペースとして運営し、多くのお客様にご利用いただきました。

6階展望ラウンジでは、「旬彩 柳葉亭」が、旬の食材を用いたお料理や飽きの来ないメニューを提供し、年代にかかわらず幅広い客層から、気軽に利用できるとご支持をいただいております。

コンサートホール、劇場及び能楽堂の「ビュッフェ」を営業（直営）し、開演前や休憩時のドリンク、サンドイッチなどのサービス提供に努めました。

○音楽文化会館

2階の喫茶レストラン「Kitchen&Café コル」において、ランチや喫茶メニューを提供し、多くのお客様にご利用いただきました。

また館内では、各階に飲料用の自動販売機を設置して、引き続き来館者へのサービス提供を図りました。

6 インフォメーションセンター、ショップの設置

○市民芸術文化会館

インフォメーションセンターでは、白山公園一帯の情報提供、館内の様々な問い合わせへの対応、自主事業や貸館公演チケットの販売、さらにはショップの営業（主に受託販売）など、幅広いサービスの提供に努めました。

貸館公演のチケット販売については、年間で126件の依頼を受け、受託枚数7,403枚に対して、4,338枚を販売しました。

ショップでは、音楽や演劇などに関連した魅力あるグッズを提供し、会館のイメージアップに寄与しています。

○音楽文化会館

事務室で貸館公演チケットの販売を行い、年間30件の依頼を受け、受託枚数1,104枚に対して409枚を販売しました。

自己評価

別紙のとおり

「指定管理者自己評価（H30年度）」（芸文・音文）

再委託実績

別紙のとおり

「平成30年度 委託契約（施設管理）」

「平成30年度 委託契約（舞台技術）」

収支決算

別紙のとおり

「新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館 収支決算書」

H30年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

★ H30は改修工事に付、評価指標見直し

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト		
市 民	1	基準稼働率の達成	3ホールの稼働率	コンサートホール	89.0%以上	78.9%	C	劇場の稼働率は目標を上回った。 コンサートホール、能楽堂は目標稼働率を下回った。 【参考】H28年度評価（指標はH30と同値） ・コンサートホール C（87.2%） ・劇場 A（80.6%） ・能楽堂 C（35.1%）	
	2			劇場	78.0%以上	80.3%	A		
	3			能楽堂	47.0%以上	37.1%	C		
	4	基準利用者数の達成	施設別利用者数 + 視察・見学者	年間人数	282,000人以上 ★	241,848人	C	目標に約4万人及ばなかった、	
	5	文化事業年間鑑賞者数	自主事業の年間入場者・参加者数	年間人数	100,000人以上 ★	102,827人	B	自主公演を積極的に実施し、目標を達成した。	
	6	貸館利用者に対するサービスの提供	地域創造ユニット（B-1-④）	対応マニュアルを設置し、利用者の安全と満足度を意識したサービスの提供をしているか。			A	担当者・担当窓口を設置し、マニュアル等を基本としつつ、舞台装置の操作助言を行うなど、利用団体の特性や公演内容等に配慮した柔軟なサポートやサービスを提供している。	
	7	貸館利用者の意見やニーズを聴取する仕組みの有無		実施していること			A	貸館利用報告書とアンケートが一体となっており、利用者の意見を聴取しやすい取り組みを行っている。更に、意見箱を設置している。	
	8	貸館利用者（主催者）満足度	アンケートによる満足度調査	満足度	90%以上	100%	A		
	9	文化事業公演年間公演回数		自主事業年間公演回数	98公演以上 ★	334公演	A	自主公演を積極的に実施し、目標を上まわった。	
	10	文化事業公演鑑賞者の意見やニーズを聴取する仕組みの有無		実施していること			A	すべての公演でアンケートを実施し、回収結果を整理のうえ事業担当者、管理職が情報共有している。	
	11	文化事業公演等の鑑賞者の満足度	アンケートによる満足度調査	創造系作品鑑賞者の満足度	90%以上	96.2%	A	観客に満足いただける事業を展開できた。	
	12			鑑賞系公演鑑賞者の満足度	90%以上	98.6%	A	//	
	13			普及系公演鑑賞者の満足度	90%以上	99.2%	A	//	
	14			育成系公演鑑賞者の満足度	90%以上	99.2%	A	//	
	15	ワークショップ回数・アウトリーチ回数		育成系事業で年間	48回以上	67回	A	東響学校訪問：60回、ジュニア邦楽教室：2回 APRICOT：5回	
	16			普及系事業で年間	17回以上	52回	A	能楽ワークショップ：12回 Noism：17回、音楽アウトリーチ：23回	
	17	育成系事業の参加者数	年度末時点での団員数	ジュニアオーケストラ ジュニアコーラス ジュニア邦楽 アプリコット	130人以上 90人以上 30人以上 50人以上	ジュニアオーケストラ ジュニアコーラス ジュニア邦楽 アプリコット	97人 130人 35人 54人	B	目標達成：コーラス、邦楽、アプリコット 目標未達：ジュニアオーケストラ ※ 合計316人で目標300人を上回った
	18	創造系事業の実施		年間公演回数	27回以上	77回	A	プロデュース演劇公演：34回 Noism：43回 → H21-24年度平均より	
	19	創造系事業市外公演回数		年間公演回数	17回以上	50回	A	プロデュース演劇公演：33回 Noism：17回 → H21-24年度平均より	

H30年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

★ H30は改修工事に付、評価指標見直し

P2

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト	
市 民	20	公演や催し物情報の情報発信		下記の取組をしているか。 ①ホームページ、②メールマガジン、③テレビ・ラジオ、④新聞、⑤雑誌、⑥機関紙	①～⑥ すべて取組あり	A		
	21	地域アピールに関する取組み		活動と成果を、地域内外に積極的に広報しているか。	・演劇事業 東京公演 他 (新潟発創造) ・Noism 埼玉公演、中 国・OIA公演 他	A	新潟市民芸術文化会館外での公演を積極的に実施した。	
	22	会館記事の新聞掲載件数	名称や事業名等が新聞等に掲載された件数	年間掲載数	124件以上 ★	149件	A	新潟発創造事業等を重点的に情報発信するなど、効果的に活用した。
	23	会館会員サービス、チケット販売サービスに関する取組み	地域創造ユニット（B-2-⑥）	下記の取組をしているか。 ①会員先行予約・優先予約制度、②チケット購入者への駐車場割引、③チケット割引制度、④セット券の販売、⑤カード決済⑥会員への機関紙の送付	①～⑥ すべて取組あり	A		
	24	会館会員数の確保	年度末時点での会員数	会員数	5,400人以上	4,868人	C	H31年度より新たな会員制度を構築する。
	25	ホスピタリティに関する取組み	地域創造ユニット（B-2-③）	職員にホスピタリティ向上の必要性を徹底するとともに、利用者側に立ったサービスの提供をしているか。	①ホスピタリティ向上の必要性をスタッフに徹底している。 ②職員の服装や身だしなみ、挨拶の励行を徹底している。 ③客席案内やもぎりなどのサービスに努めている。 ④利用者の意見を収集している。 ⑤ホームページやチラシに館のアクセス経路や問合せ先をわかりやすく掲載している。	A	貸館についてはホスピタリティやサービスを徹底し、主催者から高い評価を得ている。 今後、PRの一層の強化や広くコンベンションなどの誘致も図りたい。	
財 務	1	文化事業 自主財源比率	(事業収入+文化庁補助金等) / 事業費	自主財源比率	60%以上	63.4%	A	自主財源確保に努め、目標を上回った。
	2	文化事業収入拡大に関する取組み	地域創造ユニット（C-3-②）	事業担当者が、必要に応じて営業活動を行い、事業収入の拡大に取り組んでいるか。	事業担当者及び営業の担当者が、積極的にチケットの販売経路や顧客開拓、利用者拡大のための営業活用等を行い、事業収入の拡大に努めている。	A		
	3	外部資金導入額、導入率、外部資金導入に関する取組み	地域創造ユニット（C-3-①）	外部資金の必要性を検討し、必要に応じて情報収集を行い、都度外部資金の獲得に取り組んでいるか。	外部資金を戦略的に捉え、日頃から助成金の情報収集や企業に協力・協賛を依頼できる関係づくりを行い、積極的に外部の資金の獲得・活用に努めている。	A	文化庁（芸文振）への申請・協賛企業まわり・個人協賛の募集等をおこなった。 また、Noism活動支援会員制度の改正、ホールスポンサー制度を策定した。	
	4	経費の削減		指定管理料（管理経費）・事業費補助を年度協定額及び交付決定額以下に抑える。	指定管理料 628,759,329円 事業補助金 185,451,398円	B	選択と集中、事務効率化の徹底をおこない、年度協定額及び交付決定額以下に抑えた。	
	5	市の歳入の増加		施設使用料収入	53,000千円以上 ★	49,963千円	C	コンサートホール・劇場の利用日数が想定していたより少なく、収入も大きく減少した。

H30年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
業 務	1	長期的な視点にたった管理施設の保全		長期修繕計画を作成し、必要に応じて見直しを行う。	長期修繕計画がある	B	H28～H30年度は、市発注で大改修を実施。
	2	安全責任者の配置と安全確保体制の確立		連絡体制の確立	消防訓練、防災訓練を実施している。緊急時の迅速に、責任体制、マニュアル及び連絡網が整備されている。	A	H27年度～2種類の緊急連絡網を整備した ・管理職 → 一般職員へ情報が流れるもの ・現場（一般職員） → 管理職へ情報が流れるもの
	3	事件・事故発生時の対応の適切さ		AEDの使用法の周知徹底	AEDの操作訓練を実施している	B	平成30年10月16日実施
	4	日常連絡の適切さ		月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
	5	事業計画・事業報告の適切さ		事業報告書を翌年度4月30日までに提出	4月30日までに提出	B	
	6	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ		改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	年度末に市監査委員事務局より監査結果の報告（指摘事項あり）	B	指摘事項に順次対応し改善していく
	7	運営方針・事業目標の位置づけ		自館の設置目的、基本的使命が、運営の指針となっているか。	文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、劇場・ホールの事業や運営の指針となっており、達成目標が明確である。	A	・指定管理者業務計画書 ・同 報告書 ・本自己評価
	8	運営方針、事業目標の市民への公開		運営方針をホームページに掲載し、評価のためのアンケートを実施しているか。	施設の運営方針は、HPに掲載している。市民の意見や運営改善、評価のためにアンケートを実施している。	B	
	9	運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無		自館の設置目的、基本的使命に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立っているか。	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立っている。	A	
	10	運営方針を実現するための経営戦略の有無		市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか。	市と定期的なミーティングを実施しており、運営方針を踏まえながら、経費の節減や経営の効率化に取り組んでいる。	B	
	11	個人情報保護に関する実施の有無		実施していること	財団内に個人情報保護規定があり、研修が実施されている。	B	コンプライアンス研修に内包して実施
	12	当該施設の管理に関する関係法令の遵守		コンプライアンス研修の実施	内部研修を行っている。	B	H31年3月28・29日実施
	13	守秘義務の徹底		守秘義務違反に該当する問題がないこと	守秘義務違反に該当する問題はなかった。	B	
	14	他の公立館との共同・連携企画の有無・回数		共同・連携公演の企画が年間3つ以上	6企画	A	文化庁（芸文振）ネットワーク強化事業など

H30年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
人 材	1	専門性の高い人材の配置, 育成	地域創造ユニット (C-1-③)	館の各業務に必要な専門的知識や技能, 経験, 資格等を備えた職員を配置すること	専属の芸術監督やオルガニストを配置している。また, 音楽・演劇・舞踊などの各分野において専門家からの指導・助言を受けているほか, 外部主催の専門的研修会にも積極的に参加している。 H30年度は3名の職員が准認定ファンドレイザー資格を取得	A	研修会参加実績 (一部抜粋) 【舞台技術】 ・公立劇場舞台技術者連絡会 技術研修会 (6/25~26, 2/25~26) 【資金調達】 ・准認定ファンドレイザー必須研修 (4/7) 【会計事務】 ・公益法人協会主催: 会計セミナー (6/14~15, 9/13~14)
	2	職員のスキルとモチベーションの向上	地域創造ユニット (C-1-④)	内部研修を行い, 必要に応じ, 外部研修を利用しているか。	組織内部での研修実施や, 外部研修にも積極的に参加するほか, 自主企画事業の実施を通じ, スキルアップを図っている。	A	【内部研修】 ・インフォメーション研修 (2/25) ・コンプライアンス研修 (3/28~29) 【外部研修】 ・レセプションリスト研修 (2/14・24)
	3	労働基準の充足		労働基準違反に該当する問題がないこと	36協定違反があった。 (時間外労働の協定上限超過)	C	H31年度も引き続き時間外労働の縮減に努める。また36協定の内容を見直し, 遵守できるよう改善を図る

1. 評価指数が数値である項目は, 以下の3段階で評価。

- A 要求水準 (=評価指標) を達成し, かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準 (=評価指標) が達成されている。
- C 要求水準 (=評価指標) が達成されていない。

2. 数値で表しにくい項目については, (一財)地域創造作成の「公立ホール・公立劇場の評価指針」の戦略評価ユニットを基に以下のとおり4段階で評価する。

- イ 持続とさらなる向上が期待される。 → A
- ロ ステップアップが望まれる。 → B
- ハ 見直しが必要である。 → C
- ニ 抜本的な見直しが必要である。 → D

H30年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（指定管理者独自の項目）

★ H30は改修工事に付、評価指標見直し（共催事業公演数は、ラ・フォル・ジュルネ中止を反映）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト	
文化の振興	1	共催事業公演数		共催公演数 32回 ★	44回	A	ラ・フォル・ジュルネ（H29年度：56公演）はH30年度から中止。後継企画 春の音楽WEEK（H30年度：15公演）	
新潟市の 地域活性化	1	市報への記事掲載回数		掲載回数 0回 ★	15回	A	H30年度から、掲載基準が大幅に難化した。市へ掲載を働きかけた	
	2	雑誌への記事掲載回数		掲載回数 152回 ★	138回	C	情報発信のために効果的に活用した	
	3	新聞広告		出稿回数 25回 ★	14回	C	情報発信のために効果的に活用した	
	4	TV告知スポット		回数 20本 ★	15本	C	情報発信のために効果的に活用した	
	5	ラジオ広告		回数 110本 ★	128本	A	情報発信のために効果的に活用した	
	6	雑誌広告		回数 13本 ★	25本	A	情報発信のために効果的に活用した	
	7	りゅーとびあマガジン		年間発行回数 4回	4回	B	情報発信のために効果的に活用した	
	8	イベントガイド		月間発行回数 1回	1回	B		
	9	会館ホームページ		更新回数 随 時	随 時	A	H28にリニューアルを行い、スマホ等にも対応可とした。チケット販売サイトもスマホ対応とした。	
	10	りゅーとびあカレンダー		年間発行回数 4回	4回	B	情報発信のために効果的に活用した	
	11	メールマガジン		月間制作数 4回	0～4回（月平均2～3回）	C	情報発信のために効果的に活用した	
	12	パートナーショップ		加盟店数 40店	48店	A	上古町等を中心に新店を開拓した	
効率的な 会館運営	1	登録レセプションистの配置	登録レセプションистの体制継続	50人体制	33人	C	非常勤、短時間勤務、低い時給のため新規採用への応募者が少なく、体制を整えられなかった。	
	2	バックステージツアー		年間開催回数 6回	6回	B		
	3	安全・リスク管理の対応度	訓練の実施回数	防火訓練	2回	2回	B	法令に従い、訓練を実施（7/19・3/18）
				防災訓練	1回	2回	A	〃（7/19・10/9）
	4	清掃・館内美化への対応度	地域創造ユニット（B-3-③）	観客や住民が、安全に安心して利用できる施設環境と運営体制を整えているか。	清掃会社と共同で、施設の特性に応じた清掃の基準を作成し、実施状況を定期的に点検し、必要な場合は基準の見直しをおこなうとともに、館内の掲示物や備品のデザインや設置状況を含めた総合的なアメニティの向上を図っている。	A	法令の基準に従い、衛生管理を実施した。	
5	施設・設備の保守点検度	公演に支障をきたす設備故障件数	故障件数	0件	1件	C	練習室5の空調機が故障したため、部屋を変更	
		施設管理業務中の労働災害件数	災害件数	0件	0件	B		

H30年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（指定管理者独自の項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
効 率 的 な 会 館 運 営	6	関係法令の遵守		財団情報の公開 随時対応	公開請求なし	A	
	7	一人あたりの経費	総支出額 ÷ 年間利用者数	金 額 4,000円以下 ★	4,292円	C	H30年度より休止「わくわくキッズコンサート（H29：6,987人、H30後継企画：2,367人）」 「ラ・フォル・ジュルネ（同：22,756人、4,167人）」（合計：23,209人減）の影響大

1. 評価指数が数値である項目は、以下の3段階で評価。

- A 要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準（＝評価指標）が達成されている。
- C 要求水準（＝評価指標）が達成されていない。

2. 数値で表しにくい項目については、（一財）地域創造作成の「公立ホール・公立劇場の評価指針」の戦略評価ユニットを基に以下のとおり4段階で評価する。

- イ 持続とさらなる向上が期待される。 → A
- ロ ステップアップが望まれる。 → B
- ハ 見直しが必要である。 → C
- ニ 抜本的な見直しが必要である。 → D

総 合 評 価 （ 所 見 ）

文化事業については、コンサートホールの天井改修が5ヶ月間に及んだこともあり、鑑賞者数は昨年度を下回ったが、目標は達成した。公演回数は、館外公演を数多く実施し昨年度を上回り目標を達した。自主財源率は、昨年度を下回ったが目標は達成している。

※ H29年度比 鑑賞者数：6,749人減 公演回数：42公演増 自主財源比率：9.2%減

文化事業公演等の鑑賞者の満足度は、昨年度に引き続き高い数値を残すことができ、十分に目標を達成しているが、更にお客様に満足して頂ける内容とすべく、工夫を続ける。

育成系事業の参加者（団員）数は、合計では目標を16人上回ったが、個別ではジュニアオーケストラのみ目標に及ばなかった。オーケストラは楽器の購入など保護者の負担が大きく、子どもの貧困化問題の影響が及んでいると思われる。

※ H29年度比 ジュニアオーケストラ：7人減 同コーラス：1人増 同邦楽：1人減 アプリコット：±0人

年間の利用者数は、ラ・フォル・ジュルネの休止（H29年度実績：約2.2万人 H30年度後継企画実績：約4千人）の影響もあり、昨年度より約1.5万人減少し目標を達成できなかった。貸館の使用料はコンサートホール・劇場の利用日数が想定していたより少なく、目標を達成できなかった。H30年度で改修工事が終了し、H31年度は通年開館に戻るため利用促進を図り目標を達成したい。

音楽文化会館 指定管理者自己評価（H30年度）

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	基準利用者数の達成	年間利用者数178,000人以上	152,338人	C	<p>年間利用者数・ホール稼働率については目標を達成できなかった。前年度のりゅうとびあ工事休館に伴う利用の移動が元に戻ったことが理由として考えられる。</p> <p>次年度は約半年間の改修工事があり利用者数の減少は避けられないが、稼働率に関しては目標を達成するよう努力したい。</p> <p>満足度調査は目標値をクリアしており、会館のサービスやホスピタリティも良好な状況であった。</p>
	基準稼働率の達成	ホール稼働率 74.0%以上	70.5%	C	
	貸館利用者（主催者）満足度	貸館利用者の満足度調査で、90%以上	99.6%	A	
	貸館利用者の意見やニーズを聴取するしくみの有無	実施していること	利用報告書で満足度調査とアンケートを行い意見・ニーズの把握に努めている。また意見箱を設置している。	A	
	貸館利用者に対するサービスの提供	対応マニュアルを設置し、利用者の安全と満足度を意識したサービスの提供をしているか。 評価方法:4段階評価（※2）を行い、3段階以上にあること（戦略・評価ユニットNO. B-1-④）	受付担当者が規定に則り対応している。技術担当者も利用者の希望に可能な限り沿うように、内容に配慮しつつ安全に進行するサポート・サービスを実施している。	A	
ホスピタリティに関する取り組み	職員にホスピタリティ向上の必要性を徹底すると共に、利用者側に立ったサービスの提供を行っているか。 評価方法:4段階評価（※2）を行い、3段階以上にあること（戦略・評価ユニットNO. B-2-③）	<p>①ホスピタリティ向上の必要性をスタッフに徹底している。</p> <p>②職員の服装や身だしなみ、挨拶の励行を徹底している。</p> <p>③ホームページ等で館でのアクセス経路や問合せ先をわかりやすく掲載している。</p> <p>④館内の案内表示や利用案内を利用者にわかりやすく工夫している。</p> <p>⑤日頃より利用者の目線に立ち、設備・備品の整備に努めている。</p>	A		
財務	経費の削減	指定管理料（管理経費・事業費補助）を年度協定額及び交付決定額以下に抑える。	予算 120,719千円 決算 120,684千円	B	<p>会館の予算については、市の予算に従い予算の範囲で業務を達成した。使用料収入は次年度の工事休館に伴う申請件数の減少が想定より大きく、目標を達成することができなかった。</p>
	市の歳入の増加	使用料収入22,902千円以上	22,185千円	C	
業務	長期的な視点にたった管理施設の保全	長期修繕計画を作成し、必要に応じて見直しを行う。	平成30年度までの計画が終了。	B	<p>施設の管理については、法律に従い保守点検・衛生管理を行っており、危機管理の観点からも防火・防災訓練を行っている。</p> <p>毎年改修の要求をしている中で、次年度は外壁・冷温水発生機・エレベーター工事が実施されるが、未だ改修が必要な施設・設備が多数存在する。</p> <p>昭和52年の建設から40年以上経過し、施設・設備とも老朽化が進んでいる。今後も改修工事計画について市に要求していきたい。</p>
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	緊急連絡網の整備 消防訓練2回（6/11,10/30）	A	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底	講習会1回（10/16） AEDの使用はなし	B	
	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	4月30日までに提出	B	
	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	改善勧告等は特になかった。	A	
	運営方針、事業目標の位置づけ	自館の設置目的、基本的使命が、運営の指針となっているか。	文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、達成目標が明確である。	A	
	運営方針、事業目標の市民への公開	運営方針をホームページに掲載し、評価のためのアンケートを実施しているか。	施設の運営方針は、HPに掲載している。市民の意見や運営改善、評価のためにアンケートを実施している。	B	
	運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無	自館の設置目的、基本的使命に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立てているか。	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立てている。	A	
	運営方針を実現するための経営戦略の有無	市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか。	市と定期的なミーティングを行っており、運営方針を踏まえながら、経費削減や経営の効率化に取り組んでいる。	B	
	個人情報保護に関する実施の有無	実施していること	財団内に個人情報保護規定があり研修が実施されている。（3/28・29）	B	
	当該施設の管理に関する関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	コンプライアンス研修の実施（3/28・28）	B	
守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	守秘義務違反に該当する問題はなかった。	B		

人材	専門性の高い人材の配置, 育成	館の各業務に必要な専門的知識や技能, 経験, 資格等を備えた職員を配置すること 評価方法: 4段階評価(※2)を行い, 3段階以上にあること 地域創造ユニット(C-1-③)	全国公文協研究大会 参加 公益法人会計セミナー 参加 建築物環境衛生研修会 参加 廃棄物管理講習会 参加 ほか	A
	職員のスキルとモチベーションの向上	内部研修を行い, 必要に応じ, 外部研修を利用しているか。 評価方法: 4段階評価(※2)を行い, 3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO. C-1-④)	財団職員研修会 (外部講師)	A
	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	労働基準違反に関する事例はなかった。	A

総合評価(所見)

ホールの稼働率・利用者数・使用料収入いずれも目標値を下回った。目標値を下回った原因として、りゅーとびあで定例的に開催されていたが前年度は工事休館のため当館で開催された催し物が元に戻ったこと、高齢化等により定期利用団体が漸減している影響などが考えられる。2019年度は約半年間の工事休館があり、その影響を受けることが予想され目標の達成は厳しいと予想されるが、可能な限り目標達成への努力を行いたい。
毎年施設・設備の改修の要求を出しており、2019年度は外壁・冷温水発生機・エレベーター工事が実施される。しかし未だ改修が必要な箇所・設備が多数あり、引き続き日常的に施設の点検を行うとともに、老朽化している施設の改修工事計画及び設備修繕・更新について市に要求していきたい。

※1 評価指数が数値である項目については、以下の3段階で評価した。
A 要求水準(評価指数)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
B 要求水準(評価指数)が達成されている。
C 要求水準(評価指数)が達成されていない。

※2 数値で表しにくい項目については、財団法人地域創造が作成した「公立ホール・公立劇場の評価指針」の戦略・評価ユニットを基に評価指標を設定し以下のとおり4段階で評価した。
イ 持続とさらなる向上が期待される。→ A
ロ ステップアップが望まれる。・・・→ B
ハ 見直しが必要である。・・・・・・→ C
ニ 抜本的な見直しが必要である。・・・→ D

30年度委託契約（施設管理）

入札：入札 随契：見積り合せ 一者：一者随契

囲い：契約一本化

業務内容	市民芸術文化会館		音楽文化会館	
	委託先	契約	委託先	契約
1 人的派遣				
① 警備（機械）	セコム上信越(株)	一者	セコム上信越(株)	一者
② 警備（常駐）	NKS・セコムジャスティック・きらめき共同企業体 (複数年契約)	入札	NKS・セコムジャスティック・きらめき共同企業体 (複数年契約)	入札
③ 設備運転管理				
④ 清掃業務	環境をサポートする(株)きらめき・新潟県ビル管理共同組合・(株)不二ビルサービス共同企業体 (複数年契約)	入札	環境をサポートする(株)きらめき・新潟県ビル管理共同組合・(株)不二ビルサービス共同企業体 (複数年契約)	入札
⑤ 窓ガラス清掃業務	中央管財(株)	入札	中央管財(株)	入札
⑥ 廃棄物処理	新潟交友事業(株)	随意	新潟交友事業(株)	随意
⑦ 水質検査	(一財)新潟県環境衛生研究所	随意	(一財)新潟県環境衛生研究所	随意
⑧ 空気環境測定	新潟交友事業(株)	随意	新潟交友事業(株)	随意
⑨ ねずみ等生息調査	(株)アート	随意	(株)アート	随意
⑩ 水槽清掃	(株)企業水処理サービス	随意	(株)企業水処理サービス	随意
⑪ ばい煙測定	(一財)新潟県環境衛生研究所	随意	(一財)新潟県環境衛生研究所	随意
⑫ 駐車場管理	(社)新潟市シルバー人材センター	一者	—	—
2 保守点検				
① 電気設備	(一財)東北電気保安協会新潟事業本部	入札	(一財)東北電気保安協会新潟事業本部	入札
② 直流電源装置	自主管理	—		
③ 自家発電設備	北越機電工業(株)	随意	昱工業(株)	一者
④ 冷温水発生機	荏原冷熱システム(株)新潟営業所	一者	菱機工業(株)	一者
⑤ 空調設備	ダイダン(株)新潟支店	入札	上期：ダイダン(株)新潟支店 下期：ダイダン(株)新潟支店	随意
⑥ 排煙設備	ダイダン(株)新潟支店	入札		
⑦ 冷却塔	(株)企業水処理サービス	随意		
⑧ 自動制御装置	アズビル(株)ビルシステムカンパニー	一者	アズビル(株)ビルシステムカンパニー	一者
⑨ ボイラー貯湯タンク	渡辺建設(株)	随意	—	—
⑩ エレベーター設備	(株)日立ビルシステム関越支社	一者	(株)日立ビルシステム関越支社	一者
⑪ オーニング設備	三精テクノロジーズ(株)東京支店	一者	—	—
⑫ ゴンドラ設備	日本ビソー(株)本設ゴンドラ東京支店	一者	—	—
⑬ 自動ドア	(株)新潟ナブコ	一者	新潟寺岡オートドア(株)（1F） (株)新潟ナブコ（2F）	一者
⑭ 防災設備（機械）	星防災設備(株)	随意	星防災設備(株)	随意
⑭-2 防災設備（電気）	(株)興電社	入札	(株)興電社	入札
⑮ 植栽	グリーン産業(株)	入札	グリーン産業(株)	入札
⑯ 上水滅菌装置	新潟オーヤラックス販売(株)	一者	—	—
⑰ シャッター	(株)LIXIL 鈴木シャッター新潟営業所	一者	三和シャッター工業(株)新潟センター	一者
⑱ 空気清浄機	ミドリ安全新潟(株)	一者	—	—
⑲ 排煙窓	小竹金物(株)新潟営業所	一者	—	—
⑳ 客席椅子	KSS(株)	一者	(清掃業務に含む)	入札

30年度委託契約（舞台技術）

入：入札 随：見積り合せ 一者：一者随契
 ※： 未 実 施

囲い：契約一本化

業務内容	市民芸術文化会館		音楽文化会館	
	委託先	契約	委託先	契約
1 人的派遣				
① 舞台技術管理運営	新潟照明技研(株)	一者	新潟照明技研(株)	一者

2 保守点検				
① 舞台機構設備	カヤバ・システムマシナリー(株)	一者	森平舞台機構(株)	一者
② 舞台音響設備	ヤマハサウンドシステム(株)	一者	ヤマハサウンドシステム(株)	一者
	パナソニック システムソリューションズジャパン(株)関 越社	一者		
③ 舞台照明設備	丸茂電機(株)	一者	東芝エルティール エンジニアリング(株)首都圏営業所	一者
④ 映像記録設備	—	※	—	—
⑤ パイプオルガン	グレンツィング社	一者	—	—
	木村オルガン工房	一者		
⑥ ピアノ	ヤマハミュージックリテイリング 新潟店	随	ヤマハミュージックリテイリング 新潟店	随
	(株)河合楽器製作所北関東支店新潟店	随	渡辺ピアノ調律所	一者
	(株)わたじん 新潟支店	一者	(株)松尾楽器商会	一者
⑦ チェンバロ	(株)ギタールラ社	随	今井ピアノ調律所	一者
⑧ ポジティブオルガン	マルク・ガルニエ・オルグ・ジャパン	一者	—	—

新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館 平成30年度 収支決算書

収 入	科 目	決 算 額 (千円)	備 考	
	新潟市民芸術文化会館		1,169,998	
	市が支払う経費	814,210	指定管理料・補助金	
	事業収入	259,031	入場料収入等	
	付帯事業収入	32,910	飲食施設売上等	
	その他	63,847	文化庁補助金等	
	新潟市音楽文化会館		124,165	
	市が支払う経費	120,683	指定管理料	
	付帯事業収入	3,371	飲食施設売上等	
	その他	111		
合 計		1,294,163		

支 出	科 目	決 算 額 (千円)	備 考	
	新潟市民芸術文化会館		1,168,899	
	文化事業費		506,815	
	音楽事業	158,369	東響定期演奏会等	
	演劇事業	152,655	ふるまち新潟をどり等	
	能楽事業	27,541	春・秋能楽鑑賞会等	
	舞踊事業	128,559	Noism	
	その他	39,691	広報宣伝、調査研究等	
	施設管理受託事業費		630,273	
	人件費	286,683		
	サービス業務運営費	22,053	レセプションニスト等	
	光熱水費	97,235		
	委託料	172,503	清掃、警備、設備点検等	
	維持補修費	33,282		
	OA関係費	11,227		
	その他	7,290	広報宣伝、職員研修等	
	付帯事業費	31,811	飲食施設運営費等	
	新潟市音楽文化会館		124,067	
	施設管理受託事業費		120,794	
	人件費	42,833		
	光熱水費	25,214		
	委託料	47,110	清掃、警備、設備点検等	
	維持補修費	2,351		
その他	3,286	事務費等		
付帯事業費	3,273	飲食施設運営費等		
合 計		1,292,966		

収差 支額	新潟市民芸術文化会館	1,099	公益法人会計に基づき正味 財産額調整後の1,036千円 を特定費用準備資金へ積立
	新潟市音楽文化会館	98	

↑ 文化事業費・施設管理受託事業費は収支差額〇に付、付帯事業費の収支差額